貸借対照表

2025年3月31日現在

株式会社アイエーエナジー
第2期

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	434,175	流動負債	337,618
現金及び預金	19,735	未払費用	165,789
売掛金	34,794	未払法人税等	6,451
商品	4,171	前受金	300
未成工事支出金	122,716	未成工事受入金	157,991
前払費用	1,965	預り金	1,170
短期貸付金	245,000	賞与引当金	4,499
その他	5,790	その他	1,416
固定資産	6,823	固定負債	29,235
有形固定資産	367	退職給付引当金	1,235
車輜運搬具	367	役員退職慰労引当金	28,000
無形固定資産	1,287	負債合計	366,853
ソフトウェア	1,287	純資産の部	
投資その他の資産	5,168	株主資本	74,145
繰延税金資産	5,144	資本金	100,000
その他	24	利益剰余金	△ 25,854
		その他利益剰余金	△ 25,854
		繰越利益剰余金	△ 25,854
		純資産合計	74,145
資産合計	440,998	負債純資産合計	440,998

個別注記表

1. 会計方針に関する事項

① 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 商品及び未成工事支出金

評価基準は個別法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

② 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

定率法

耐用年数は次の通りであります。

車輛運搬具 2年

ロ 無形固定資産

定額法

耐用年数は、次の通りであります。

ソフトウェア 3年

③ 重要な引当金の計上基準

イ 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

ロ 役員退職慰労引当金

役員の特別功労金支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

ハ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。
なお、退職給付債務の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

④ 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。いずれの事業についても取引の対価は履行義務を充足してから主として1年内以内に受領しているため、重要な金融要素は含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる重要な変動対価はありません。

建設工事については工事請負契約に基づき工事を行う義務を負っており、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法により収益を認識しております。履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は見積総原価に対する発生原価の割合（発生原価に基づくインプット法）によっております。なお、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い場合は、履行義務が全て充足された一時点で収益を認識しております。

2. 当期純損失

当期純損失は、25,838千円であります。